

学習指導案形式例【特別活動 学級活動（１）】

第４学年○組 学級活動（１）指導案

指導者 ○○ ○○

１ 議題「４年○組かるた大会をしよう」

ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

- ・学級活動「（１）学級や学校における生活づくりへの参画」は、児童が自分たちの学級や学校の生活をよりよくするために、議題を見だし、話し合い、合意形成したことに協働して取り組むとともに、一連の活動を振り返り、次の課題解決へとつなげることを通して、自治的能力を育成します。
- ・学級活動（１）は、「議題」とし、学習指導要領「特別活動」の第２ 各活動・学校行事の目標及び内容[学級活動] ２ 内容の符号（ア～ウ）とその「内容項目」を記述します。

■学級活動（１）学級や学校における生活づくりへの参画

- ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決
- イ 学級内の組織づくりや役割の自覚
- ウ 学校における多様な集団の生活の向上

- ・「事前」、「本時」、「事後」の一連の活動を指して議題とし、議題は「～しよう」などとしします。

２ 議題について

（１）児童の実態

本学級の児童は、明るく素直な児童が多い。休み時間になると元気よく外へ飛び出し、仲よく遊ぶ姿が多く見られる。交友関係を見ると、特に女子は仲のよい特定のグループができつつある。男女の仲はよく、グループをつくる際にも男女の垣根を越えて組むことができる。学級活動については、４月に児童、保護者、担任の願いを盛り込んだ学級目標を設定し、その上で１学期の個人目標を意思決定した。また学級会オリエンテーションを行い、学級会の進め方や話し合いの約束などについて共通理解を図った。その後、「クラスが楽しくなる係を決めよう」「１学期まとめの会をしよう」などの議題で話し合い、実践を積み重ねてきた。これらの活動を通して、児童はみんなで協力して実践する楽しさを味わい、学級会の進め方も少しずつ身に付けてきた。しかし、学級会の際に友達の意見が最後まで聞けずに口を挟んでしまったり、仲良しの友達の意見に流されてしまったりするなど、相手を思いやる気持ちが欠けている児童や何事も他人任せなため自分たちで計画的に活動を進めていこうとする意識の低い児童がいるという現状がある。

児童生徒の学級生活における実態や、学級活動における実態などについて記述します。

（ポイント）

- ・今年度の学級目標
- ・児童生徒の学級生活における実態と特別な配慮を要する児童生徒への支援
- ・これまでの学級活動の取組
- ・各学年の評価規準からみた話し合い活動における課題や目指す方向

（２）議題選定の理由

本議題は、学級会オリエンテーションの際、議題案の一つとして挙がっていたものである。休み時間に郷土かるたや百人一首で遊ぶ中で「今度は４年○組だけのかるたを作って、みんなでかるた大会がしたい」という思いが徐々に高まり、議題として選定された。自分たちだけのかるたを作ることを通して自分や友達のことを深く知るとともに、学級への所属感を高めていく。かるた大会を計画し、実践することを通し

て協力することの大切さを味わうことができるようにする。また、「かるたに書く内容を何にするか」「友達のことをもっとよく知るためにどんな工夫をするか」「役割分担をどうするか」という3点について、互いの意見を尊重し合いながら協力して計画を立て、実践できるように指導していく。かるた大会を通して互いのよさに気づき、協力してよりよい人間関係を築くとともに、自分たちの力でよりよい学級生活をつくっていかうとする自治的能力を育てていきたい。

- ・議題が選定された背景や、教師の指導観などについて記述します。
- ・(1) 児童の実態と(2) 議題選定の理由を統合して記述すること考えられます。
- ・評価との関わりについて、学習指導要領での位置付けを示し、本議題を通してどのような集団づくりを目指しているのか等、目指す児童生徒の姿を記述します。
- ・1人1台端末の効果的な利活用については、育成を目指す資質・能力との関連を明確にして記述します。

3 評価規準

第3学年及び第4学年の評価規準

よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
学級や学校の生活上の諸問題を話し合って解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協力して実践している。	学級や学校における人間関係をよりよくし、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとしている。

学級活動(1)は、児童の自発的、自治的な集団活動の計画や運営に関わるものであり、その活動形態として「話し合い活動(学級)」、「係活動」、「集会活動」の3つがあります。これらの活動が、発達の段階に即した教師の適切な指導の下に行われるようにすることが重要になります。議題ごとに評価規準を設定するのではなく、各学校で定めた評価の観点に基づき、低・中・高学年等の評価規準を設定します。

4 事前の活動

[計画委員会の活動]

日 時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿(観点) 【評価方法】
○月○(○) 業間休み	・提案ポストの議題案を確認し選定する。 〈提案された議題〉 ・4年○組だけのかるたを作ってかるた大会をしたい。 ・学級文集を作りたい。 ・「得意なこと発表会」をしたい。	・議題選びの視点を念頭に置いて選定することを指導する。	◎よりよい学級生活をつくるために、進んで議題の選定をしようとしている。 (主体的に取り組む態度) 【提案カード、観察】

○月○日 (○) 昼休み	・活動計画を作成する。 (提案理由、めあて、話し合うこと、決まっていること(条件等)の確認) ・学級会の進行の仕方を確認する。 ・学級活動コーナーに掲示する。	・実態を踏まえ、日時や場所などの条件を教師が設定する。 ・提案者の思いや願いを学級全体の共通の問題になるように、提案理由をしっかりと深めるようにする。	◎計画委員会の役割、かるた大会に向けた話し合いの進行の仕方等を理解している。 (知識・技能) 【活動計画、観察】
○月○日 (○) 昼休み	・学級会ノートに目を通し、書かれた意見を整理する。	・出された意見から話し合いの見通しがもてるように助言する。必要に応じて短冊に記入する。	

学級会に向けた計画委員会の準備の計画を示します。

●計画委員会が行う準備計画

- ・議題の選定 ・活動計画、学級会ノートの作成 ・学級活動コーナーへの掲示
 - ・短冊の作成、掲示 ・学級会での役割分担 ・進行の確認
- などの活動が考えられます。

●学級全員が行う準備計画

- ・議題の決定 ・学級会ノートへの記入 などの活動が考えられます。

学級会までに学級全員が行う準備の計画を記述します。

[学級全員の活動]

日 時	児童の活動	・指導上の留意点	◎目指す児童の姿(観点) 【評価方法】
○月○日 (○) 帰りの会	・議題を決定する。	・計画委員会の提案のもと学級全員で決定する。	◎学級生活をよりよくするために、進んで議題を考えたり、選んだりしようとしている。 (主体的に取り組む態度) 【観察】
○月○日 (○) 帰りの会	・学級会ノートに自分の考えを記入する。	・話し合うことや決まっていることが共通理解できるよう必要に応じて助言する。	◎かるた大会の目的に合った意見を考え、判断し、ノートに書くことができる。 (思考・判断・表現) 【学級会ノート】
○月○日 (○) 朝の会	・学級会ノートを受け取る。	・学級会ノートに励ましの言葉等を記入し、話し合いの意欲を高める。	

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

学級生活をより楽しく豊かなものにするため、友達の立場や思いを察しながら、みんなのことをもっとよく知ることができるオリジナルかるたの内容やかるた大会の計画を考えることができるようにする。

学級活動(1)は児童による自発的、自治的な実践活動であることから、発達の段階に応じて、計画委員会などで児童自らの作成した活動計画を添付するなどの工夫が大切になります。小学校の低学年などでは、児童の作成が難しい場合、教師が記述することもあります。

●児童の活動計画に示す例

- ・議題 ・計画員会役割分担 ・提案理由 ・話合いのめあて ・決まっていること
- ・話合いの順序 ・気を付けること ・準備

(2) 児童の活動計画(事前の活動で児童が作成した計画)

第〇〇回 4年〇組 学級会 活動計画 〇〇年〇〇月〇〇日 (〇) 第〇校時				
議題	4年〇組 かるた大会をしよう			
提案理由 提案者 〇〇 〇〇さん	今まで4年〇組では、いろいろな集会や行事を通して、けんかや失敗をしながらもみんなで協力して乗り越えてきました。今度は4年〇組だけのオリジナルかるたを作ってみんなで楽しむことで、友達やクラスの新たなよさも発見でき、クラスのきずなはさらに深まると思って提案しました。			
司会グループ	司会〇〇さん	黒板記録〇〇さん	黒板記録〇〇さん	ノート記録〇〇さん
話合いのめあて	友達やクラスのよさを発見できるかるた大会を計画しよう			
決まっていること	・〇〇月〇〇日(〇)〇時間目に実施する。 ・四つ切り画用紙で作る。 ・50音の行ごとに班で分担してみんなで1セット作る。・体育館で実施する。			
話合いの順序	気を付けること			準 備
1 はじめの言葉	・大きな声ではっきりと言う。(司会)			・説明の紙 話合いを進める際の留意点、予想される対立への対処方法、合意形成に向けた意見の整理の仕方等について、画委員会では話し合い、記述しておきます。
2 計画委員の紹介	・一人ずつ役わりと名前、めあてをはっきり紹介する。			
3 議題の確認	・大きな声ではっきりと言う。(司会)			
4 提案理由の確認	・プレゼンテーションソフトを使い、電子黒板でわかりやすく示しながら説明する。(提案者)			
5 決まっていることの確認				
6 話し合いのめあての確認	・司会が言った後、全員で声に出して言う。			
7 話し合い	・黒板に短ざくを整理してはっておき、「くらべ合う」から話し合うようにする。			
〇話し合うこと① 「かるたに書く内容」 (12分間)	・出された意見に付け足しがあれば先にしてもらう。			
〇話し合うこと② 「友達のことをもっとよく知るための工夫」 (15分間)	・いい案理由にそったかるたの内容はどれかを考えてもらう。 ・今までの学級集会活動を思い出しながら、どんな工夫ができるか、どんな係が必要かを考えてもらう。 ・工夫はいくつあってもよいが、自分たちにできるかどうかをみんなに考えてもらう。			
〇話し合うこと③ 「必要な係」(8分間)				
8 決まったことの発表	・分かりやすくまとめて発表する、(ノート記録)			

9 振り返り	・時間があったら2,3人に発表してもらう。	
10 先生の話		
11 終わりの言葉	・会に向けて元気よく言う。(司会)	

(3) 教師の指導計画 (本時の展開)

	活動の内容	児童の活動	◎目指す児童の姿 (観点)【評価方法】
導入	1 はじめの言葉 2 計画委員の紹介 3 議題の確認 4 提案理由の確認 5 決まっていることの確認 6 話合いのめあての確認	・自分のめあてが言えるように、事前に指導する。 ・提案者の思いや願い、学級全員の問題であることを確認する。 ・日時や場所については、あらかじめ教師の方で決めておく。	
出し合う くらべ合う	7 話合い ○話合うこと① 「かるたに書く内容を何にするか」 ○話合うこと② 「友達のことをもっと知るための工夫をどうするか」 ○話合うこと③ 「どんな係が必要か」	・話し合うこと①は「くらべ合う」段階から進められるよう、事前に短冊を背面黒板等に掲示しておき、出されている意見を全員で共通理解できるようにしておく。 ・司会が進行に困ったときは、方向性を示唆する。児童の合意形成を方向付けるような助言はしない。 ・自治的活動の範囲を越えそうな場合は、必要に応じて助言する。 ・自分の意見に固執せず、納得した上で考えを変えるなど、折り合いをつけることも必要であることについて助言する。	◎仲が深まるかるた大会になるように、友達の意見を参考にしながら折衷案を考えて発言したり、みんなの共感を得られるような改善案を出したりしている。 (思考・判断・表現) 【観察、学級会ノート】 ◎前回の話合いの経験を生かして、合意形成を図るための話合いの進め方や約束を理解している。 (知識・技能) 【観察】

まとめる (決める)	8 決まったことの発表	・よかった点や課題について自己評価し、友達のよかった点などについても相互評価できるように助言する。 ・終末の助言では、①合意形成したことへの価値付けや個人や集団への称賛、②今後の課題、③計画委員へのねぎらい、④今後の見通しや実践に向けての意欲付け等について簡潔に述べ、特に前回の話し合いと比べての変容について称賛する。 ・時間があれば、提案者に今日の話し合いの感想を述べる場を設ける。	折り合いを付けて合意形成できたことや、集団として前回の話し合いより成長した点、合意形成に結び付く意見等について価値付け、実践に向けて意欲を高めます。
	9 振り返り		
	10 先生の話		
	11 終わりの言葉		

6 事後の活動

日 時	児童の活動	・指導上の留意点	◎目指す児童の姿 (観点)【評価方法】
○月○日 (○) 帰りの会	・決まったことを学級活動コーナーに掲示する。 ・役割分担が決まっていなければ、係の役割分担をする。	・学級会で決まったことの要点をまとめて書くよう計画委員に助言する。	◎合意形成したことをもとにみんなで協力し、進んでかるた大会の準備に取り組んでいる。 (主体的に取り組む態度) 【観察】
○月○日 (○) 休み時間等	・係ごとに準備をする。 ・それぞれが自分の分担のかるたを作る。 ・帰りの会などで、係ごとに適宜経過報告をする。	・係は必ず複数名で担当し、協力して活動できるよう、活動の状況を途中で報告し合いながら活動意欲の継続化を図る。 ・準備の進捗状況を途中で確認し活動意欲の継続化を図る。	◎かるた大会の目的を考え、めあてを意識しながら友達と協力して実践している。 (思考・判断・表現) 【観察、振り返りカード、感想文】
○月○日 (○) ○校時	・「○年○組かるた大会」 ・かるた大会終了後、感想を記入する。	・協力したり工夫したりしている児童を称賛する。 ・自分の態度を振り返るとともに、友達のよいところについても認められるように助言する。	

【引用文献】

- ・ 国立教育政策研究所「みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動小学校編」平成30年12月
- ・ 国立教育政策研究所「学校文化を創る特別活動（中学校・高等学校編）」令和5年3月
- ・ 国立教育政策研究所「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校特別活動
令和2年3月
- ・ 文部科学省 小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 特別活動編 平成29年7月